

## PETボトル用樹脂キャップ白無地 統一のお知らせ

社団法人全国清涼飲料工業会(会長:前田仁、以下・全清飲)は、PET ボトル用樹脂キャップの供給量不足に対応して、業界として「白無地キャップに統一」することを4月13日、決定したことをお知らせします。なおこの期間は、被災キャップ工場が復旧し供給が整うまでと考えております。

全清飲には去る3月29日、日本クラウンコルク(株)、(株)CSIジャパン、日本山村硝子(株)プラスチックカンパニーの3社より、震災の影響により飲料水の需要が急速に高まっているなか、この度の震災による工場被災により、PETボトル用樹脂キャップの供給能力が著しく低下している状況の説明を受けるとともに、この様な状況下にあつて、キャップの生産効率、供給能力を高めるために、現状のカラーキャップを白シェルキャップとし、かつキャップ天面の印刷のない白無地キャップのみでの供給としたい旨の要望を受けておりました。

全清飲は、会員各社へ「白無地統一」への協力依頼を行うとともに協議を重ねてまいりましたが、会員各社より、緊急事態の折、ブランドデザインやマークに固執せず、協働して現在の難局を乗り越えることが企業の使命であるとの認識の一致を得、全清飲として日本国産 PET ボトル用樹脂キャップの「白無地統一化」に全面的に協力することと決定致しましたので、ここに発表させていただきます。

なお、各社の在庫の関係から、白無地キャップへの移行は順次、実施されます。この白無地に統一することで1割程度、供給能力が上がる予定です。